

Canon EF LENS

EF24-105mm f/3.5-5.6 IS STM



IMAGE STABILIZER

JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF24-105mm F3.5-5.6 IS STMはEOSカメラ用に開発された、手ブレ補正機能に加えて快適な動画撮影を実現した高性能標準ズームレンズです。

- ISはImage Stabilizer（手ブレ補正機能）の略称です。
- STMはStepping Motor（ステッピングモーター）の略称です。

特長

1. 動画撮影時の機能を高めています。
 - ・ ステッピングモーターとリードスクリューの採用により、静かでスムーズな動画サーボAFを実現しています。*1
2. ファインダー撮影時には、高速で静かなオートフォーカスを実現しています。
3. UDレンズと非球面レンズを採用することにより、優れた描写性能を実現しています。
4. シャッター速度換算で、4段分*2（焦点距離105mm、EOS-1D X使用時）の手ブレ補正機能を備えています。
また撮影状況（静止した被写体の撮影、流し撮りなど）に応じて最適な手ブレ補正を行います。

5. フォーカスリングの回転を電氣的に検知して手動フォーカス（MF）を行う、電子マニュアルフォーカスを採用しています。
6. オートフォーカスモード（ONE SHOT AF時）のまま、合焦後にマニュアルでピント調整ができます。
7. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。

*1：次のカメラに適用しています。（2014年8月現在）

EOS 70D、EOS Kiss X7i、EOS Kiss X7、EOS Kiss X6i
マウントアダプター EF-EOS Mと併用時にEOS M2**、EOS M

** 国または地域によって取り扱いがございません。

*2：CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によります。

安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。
特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因になります。
- レンズ、またはレンズを付けたカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

使用時のご注意

- 本レンズをご使用になる場合は、カメラの最新ファームウェアを弊社ホームページで確認してください。カメラのファームウェアのバージョンが最新でない場合は、最新のファームウェアにアップデートしてください。
- ファームウェアのアップデート方法については、キャノンのホームページで確認してください。

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

撮影上のご注意

このレンズは、フォーカスレンズ（ピント合わせを行う役割のレンズ）の駆動にステッピングモーターを用いています。

このモーターはズーミング中もフォーカスレンズを動かしています。

1. 電源が入っていない状態でのご注意

電源を切った状態やオートパワーオフで電源が切れた状態では、モーターが作動しないため、次のことにご注意ください。

- マニュアルフォーカスでのピント合わせはできません。
- ズーミングすると、ピントズレが生じます。

2. レンズの休止状態でのご注意

このレンズは、レンズを操作しない状態が続くと節電のため、カメラのオートパワーオフとは別に休止状態になります。

カメラの電源が入っていても、レンズが休止状態のときにはモーターが作動しないため、次のことにご注意ください。

- マニュアルフォーカスでのピント合わせはできません。
- ズーミングすると、ピントズレが生じます。
- レンズの休止状態からの復帰には、シャッターボタンを半押ししてください。

3. 初期リセット中のご注意

カメラの電源を入れたとき、およびオートパワーオフで電源が切れたところからシャッターボタン半押しで電源を入れたとき*1、フォーカスレンズの初期リセット動作が行われます。*2

- 初期リセット中は、ファインダーでボケが変化する像が見えますが正常動作です。
- 初期リセットが完了する約 1 秒間*3、撮影操作をお待ちください。

*1：次のカメラを除きます。

EOS Kiss X7i、EOS Kiss X7、EOS Kiss X6i

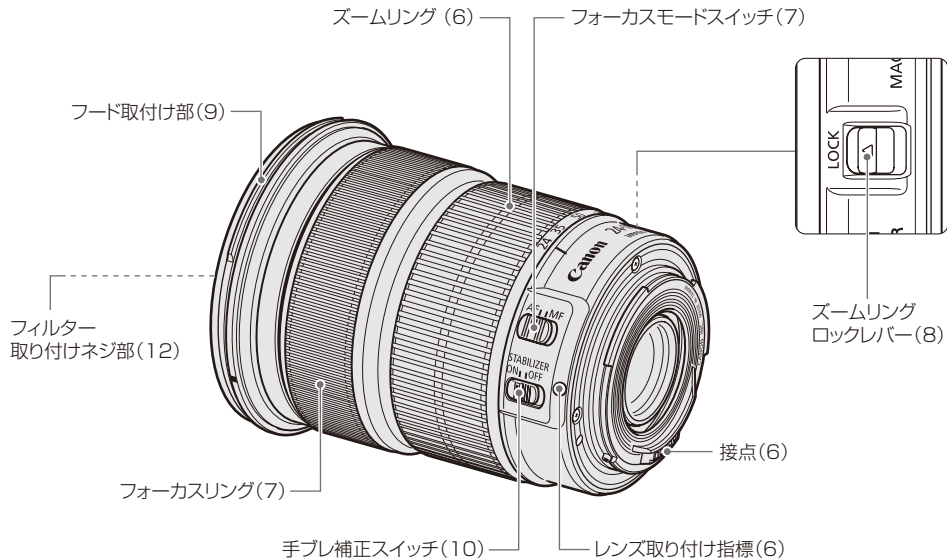
*2：記載のカメラ操作以外でもレンズの性能を維持するため、一部のカメラで初期リセットされることがあります。

*3：ご使用のカメラにより異なります。

フィルム一眼レフカメラに装着した場合のご注意

- フォーカスレンズの駆動速度が遅くなります。
- カメラの内蔵ストロボ充電中や静止画の露光中にズーミングすると、ピントズレが生じます。
- 電源スイッチが〈ON〉の場合でも、ズーミングすると、ピントズレが生じることがあります。
その場合は、シャッターボタンを半押しした状態でズーミングをしてください。
- オートフォーカスモードがONE SHOT AFのとき、AF後にシャッターボタンを半押しした状態でズーミングすると、カメラの表示がマニュアルフォーカスに切り換わることがあります。
- 連写中にズーミングすると、連写速度が遅くなることがあります。
- ズーミングのあと約 1 秒間は、AFが動かないことがあります。

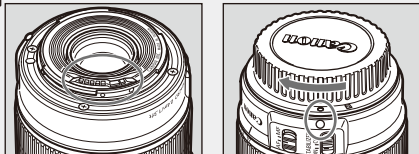
各部の名称



● (**) の**部は参照ページを示しています。

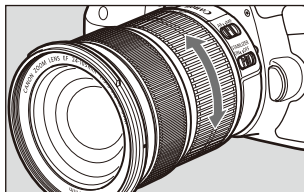
1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。



- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

2. ズーミング

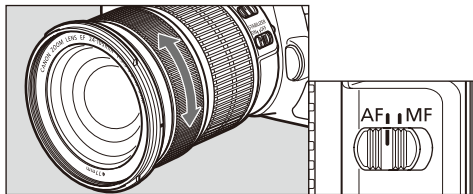


ズームリングを手で回してズーミングします。



- ピント合わせはズーミングしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズーミングすると、ピント誤差が生じることがあります。
- ズームリングを急回転させた場合、一時的にピントがボケることがあります。
- 電源が切れた状態でズーミングすると、ピントズレが生じます。
- 静止画の露光中にズーミングすると、ピントズレが生じ輝点などの軌跡がボケます。

3. フォーカスモードの設定



オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。

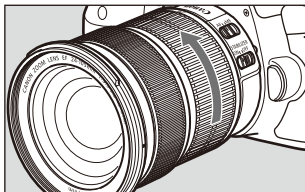
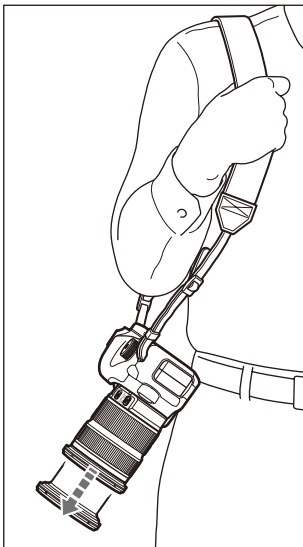
マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを手で回してピントを合わせます。

 カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッターボタン半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。(フルタイムマニュアルフォーカス)

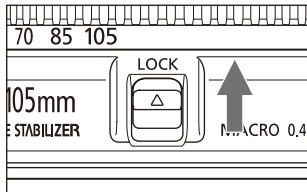
-  フォーカスリングを急回転させた場合、ピント合わせが遅れることがあります。
 - 電源が切れた状態では、MFでのピント合わせはできません。
 - ピントを合わせたあと、ピント位置を維持する場合は、カメラの電源スイッチを〈ON〉のままにしてください。
ただし、電源スイッチが〈ON〉のままで、バッテリーの交換やレンズの着脱をすると、ピントがズレることがあります。
- なお、ピント位置を維持したままカメラの電源を切る場合は、オートパワー OFF機能をご使用ください。

4. ズームリングの固定

ズームリングを固定して、レンズを最短状態に保持できます。ストラップ付きカメラに装着した状態で運搬するとき、ズーム繰り出し部が伸びてしまうことを防ぎます。



1 ズームリングをワイド端 (24mm) まで回します。



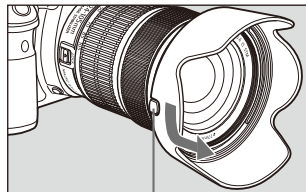
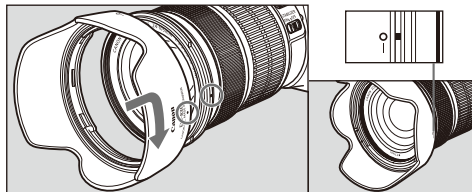
2 ズームリングロックレバーを矢印の方向にスライドします。

- ズームリングの固定を解除するときは、ズームリングロックレバーを矢印の反対方向にスライドします。

! ワイド端以外でのズームリングの固定はできません。

5. フード（別売）

レンズフードEW-83Mは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。



ボタン

●取り付け

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端の赤指標をあわせ、レンズの赤指標とフードの停止位置マークが合うまで、フードを矢印の方向に回して確実に取り付けてください。

●取り外し

フードの側面にあるボタンを押しながら、フードの取り付け位置マークとレンズの赤指標が合うまで、フードを矢印の方向に回して取り外してください。

収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。

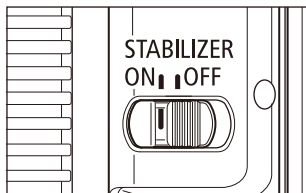


- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。

6. 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能はフォーカスモードがAF/MFどちらの場合でも使用できます。

また撮影状況（静止した被写体の撮影、流し撮りなど）に応じて最適な手ブレ補正を行います。



1 手ブレ補正スイッチをONにします。

- 手ブレ補正機能を使用しないときはOFFにします。

2 シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正機能が働きます。

- ファインダー像が安定したことを確認し、シャッターボタンを全押しして撮影します。

- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
- 大きく揺れ動く乗り物から撮影するときは、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
- 手ブレ補正機能を〈ON〉にすると、〈OFF〉の時にくらべて電池が消耗し、撮影可能枚数や動画撮影時間が少なくなります。

- 静止した被写体の撮影では、すべての方向の手ブレを補正します。
- 水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。
- 三脚を使用した場合も支障なく撮影できますが、バッテリーの消耗を防ぐため手ブレ補正スイッチをOFFにすることをおすすめします。
- 一脚を使用した場合も、手持ち撮影と同等の手ブレ補正効果がありますが、撮影環境によっては、手ブレ補正効果が低下する場合があります。
- 手ブレ補正機能はエクステンションチューブ EF12 II、EF25 II を使用しても作動します。
- カメラのカスタム機能でAF作動操作を変更したときは、変更後のAF作動ボタン操作でも手ブレ補正機能が作動します。

手ブレ補正機能

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。



ON



OFF



ON



OFF

- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使用できない状況

- 移動する被写体を流し撮りする場合

7. フィルター（別売）

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

- フィルターは1枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキャノン円偏光フィルター PL-C B（77mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外して行ってください。

8. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II/EF25 IIを使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

		撮影距離範囲(mm)		撮影倍率(倍)	
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	24mm	176	188	0.61	0.50
	105mm	323	1041	0.46	0.12
EF25 II	24mm	使用できません			
	105mm	290	594	0.67	0.27

 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

9. クローズアップレンズ（別売）

クローズアップレンズ500D（77mm）を使用して拡大撮影ができます。

撮影倍率は次のようになります。

- 105mm側で使用できます。（撮影倍率は0.41 ～ 0.21倍）



- クローズアップレンズ250Dは使用可能なサイズがありません。
- 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

主な仕様

焦点距離・明るさ	24-105mm F3.5-5.6
レンズ構成	13群17枚
最小絞り	F22-36*
画角	対角 84°～23°20'、垂直 53°～13°、水平 74°～19°20'
最短撮影距離	0.4m
最大撮影倍率	0.3倍（105mm時）
画界	約291×449～81×121mm（0.4m時）
フィルター径	77mm
最大径×長さ	83.4×104mm
質量	約525 g
フード	EW-83M（別売）
レンズキャップ	E-77 II
ケース	LP1219（別売）

* 数値は絞り表示が1/3段ごとの場合です。1/2段ごとの場合はF22-32になります。

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。
付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+24.2mmになります。
- 大きさ・質量表示は本体のみの値です。
- エクステンダーは使用できません。
- 絞り値は、カメラ側で設定します。ズーミングによる絞り値の変化はカメラが自動的に補正します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打ち切り後7年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キャノンEFレンズホームページ

canon.jp/ef

キャノンお客様相談センター

050-555-90002 (直通)

受付時間〈平日〉9:00～20:00〈土/日/祝〉10:00～17:00〈1/1～3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

